

令和6年度事業報告

I 法人運営

【運営方針】

経営ビジョンを通じて基本理念を実現するために、組織体制の整備を図るとともに、安定したサービスを提供するため経営基盤の充実に努めたほか、経営環境の変化を見据えた今後の経営戦略を踏まえ、効果的・効率的な経営を行うとともに、人事評価制度の公正かつ適正な運用による人材育成を図った。

II 具体的事業

【総務部関連】

1 組織体制の整備

理事会及び評議員会並びに専門部会等の適正な運営を図り、併せて重点事業等を的確かつ円滑に実施するために組織体制の整備を図るとともに、人材の適正な配置を行った。

《令和6年度の重点事業》

- ①浄化槽を取り巻く状況の変化に対応したより効率的な検査事業の推進
- ②法定検査業務の推進
- ③浄化槽適正管理の推進
- ④経営基盤の充実
- ⑤デジタル化の推進
- ⑥人材育成の推進
- ⑦SDGsを踏まえた事業活動の推進

2 経営基盤の充実【重点事業】

検査事業の「成熟期」に対応した具体的な経営戦略として、「適正な職員数の配置」、「マルチ担当制度」、「アウトソーシング活用の検討」、に取組み、効果的・効率的な経営を図った。

また、直行勤務等の導入により、「事務効率化」と「経費削減」を図り、時間的効果や有給休暇取得率の向上及び時間外勤務の減少などワークライフバランスの向上により、職場における働き方改革を推進した。

3 人材育成の推進【重点事業】

人事評価制度を通じて、職員階層に応じた職務執行基準の遵守や業務課題への積極的な取り組みを促すことにより、必要な人材の育成を図った。

また、人材育成専門機関が実施する各種セミナーの受講を促進し、職員のビジネススキルの向上を図るとともに、内部研修として技術系職員の研修を計画的に行い技術力の向上を図った。

4 社会貢献活動（CSR）

(1) SDGs を踏まえた事業活動の推進【重点事業】

環境省が推奨する環境マネジメントシステム「エコアクション 21」を活用した事業経営に取り組むとともに、国連が掲げた「持続可能な開発目標」SDGs を踏まえた活動を行った。

(2) エコアクション 21 の推進

E A21 ガイドラインに基づき、二酸化炭素の排出抑制、廃棄物の削減など環境面の取り組みと、浄化槽の法定検査や適正管理の推進など、協会の重要な事業に関する目標等を設定し、活動・評価を行うことにより環境経営を推進した。

その一環として当協会が作成・公表している「環境経営レポート」が、一般財団法人持続性推進機構主催の「エコアクション 21 オブザイヤー2024」において、環境経営レポート及び社会課題解決につながる取組などが評価され、「優良賞」を受賞した。

【情報管理・企画部関連】

1 デジタライズの推進【重点事業】

情報管理課を中心にデジタライズ準備室を設置し、定期的なデジタライズ勉強会を実施するとともに、デジタル化ツールの選定や効率化出来る業務の検討を実施した。

2 浄化槽適正管理の推進【重点事業】

(1) 行政との連携

浄化槽の適正管理を推進することを目的として、福岡県、久留米市及び当協会の 3 者で「浄化槽適正管理推進会議」を開催し、浄化槽法定検査受検促進・調査事業をはじめとする各種事業に係る必要な施策について、協議・調整等を図った。

(2) 浄化槽新規設置予定者啓発

浄化槽の設置予定者に対して、浄化槽の仕組み、正しい使用方法、維持管理の必要性、法定検査の受検義務等を記載した啓発資料を送付し、浄化槽に関する正しい知識の普及啓発を図った。(啓発資料送付実績は、2,827 件)

(3) 浄化槽適正管理推進キャンペーン

県下の商業施設において、行政と連携し、浄化槽の保守点検及び清掃並びに法定検査の必要性を啓発する街頭キャンペーンを、以下のとおり実施した。

なお、開催店舗の要望を踏まえ啓発スタッフの人数を制限し、啓発物展示と来店者への啓発チラシ及びノベルティの配布を行った。

市町村	会場	開催日時	配布数
飯塚市	イオン穂波店	令和 6 年 8 月 2 日(金)9:00～12:00	220
朝倉市	三連水車の里あさくら	令和 6 年 8 月 20 日(火)9:00～11:00	380
久留米市	道の駅くるめ	令和 6 年 10 月 4 日(金)9:00～12:00	378

(4) 福岡県浄化槽台帳システム運用事業【福岡県委託事業】

福岡県の委託事業として、福岡県の浄化槽台帳システム（北九州市、福岡市及び久留米市を除く県域）の運用及び台帳情報の入力を実施した。

3 浄化槽普及啓発事業

(1) 浄化槽シンポジウム

地域の実情にあった生活排水処理計画が構築されるよう、福岡県及び福岡県浄化槽推進協議会との共催により、年 1 回、地方公共団体の政策決定に携わる方をはじめ広く県民を対象として、「浄化槽の有用性を啓発するシンポジウム」を開催している。

令和 6 年度は、会場開催を実施するとともに WEB 配信を行った。

○「令和 6 年度浄化槽シンポジウム福岡」

- ・共催：福岡県、福岡県浄化槽推進協議会、（一財）福岡県浄化槽協会
- ・後援：全国浄化槽団体連合会九州地区協議会、福岡県環境整備事業協同組合連合会
- ・開催日時：令和 6 年 11 月 1 日（金）14:00～17:00
- ・会 場：パピヨン 24 ガスホール（福岡市博多区千代 1-17-1）
- ・WEB 配信：令和 6 年 12 月 2 日（月）から令和 7 年 1 月 31 日（金）まで
- ・第 1 部（講 演）

「地域に適した浄化槽システムと概成を目指した取組み」

常葉大学 小川浩 名誉教授

第 2 部（パネルディスカッション）

テーマ「地域に適した汚水処理施設の概成に向けて！」

コーディネーター：常葉大学 小川浩 名誉教授

パネリスト：福岡県環境部廃棄物対策課施設第一係 今村文香 係長

大牟田市環境部環境業務課 小柳剛 氏

飯塚市企業局下水道課建設係 野口亮 主任

田川市市民生活部環境政策課汚水処理対策室 武田翔平 主任

- ・開催結果：会場参加者：154 名

WEB 視聴回数：122 回

(2) 出前講座

浄化槽をはじめとする生活排水処理技術や水環境保全等の環境問題に対する知識を将来に亘って広く一般に付与するためには、21 世紀を担う子供達への教育が重要であり、文部科学省においても SDG s 達成のための教育の推進（ESD）を提唱していることから、学校教育の場を活用して、浄化槽を含めた水環境保全に関する環境学習を実施した。

出前講座の実績は、以下のとおりである。

区分/地区	福岡地区 (福岡市除く)	北九州地区 (北九州市除く)	筑後地区 (大牟田市除く)	筑豊地区	合計
-------	-----------------	-------------------	------------------	------	----

小学校数	0 校	15 校	3 校	9 校	27 校
児童数	0 名	302 名	118 名	431 名	851 名

(3) 環境フェア

市町村が開催する環境フェア等のイベントにおいて、浄化槽の啓発ブースを設け、浄化槽の有用性や適正管理の普及啓発を図るとともに、関係団体が参加するイベントへ浄化槽模型貸出等の協力を行った。実績は、以下のとおりである。

主催	名称	開催時期・場所	展示内容
久留米市	WEB 環境フェア	令和 6 年 6 月 1～30 日 WEB	協会の紹介 福岡県製作動画の掲載
田川市	コールマインフェスティバル	令和 6 年 11 月 3 日 石炭記念公園	浄化槽模型・パネル展示 PC クイズ、啓発グッズ配布
飯塚市	サイエンスモール	令和 6 年 11 月 16 日 イヅカコミュニティセンター	浄化槽模型・パネル貸出 ※飯塚市下水道課実施
糸島市	深江校区文化祭	令和 6 年 11 月 24 日 深江コミュニティセンター	浄化槽模型・パネル貸出 ※(株)二丈環境整備センター実施
八女市	スマイルフェスタ八女	令和 6 年 12 月 7 日 おりなす八女	浄化槽模型・パネル展示 PC クイズ、啓発グッズ配布
飯塚市	エコスタいいづか	令和 7 年 2 月 8 日 飯塚市役所	浄化槽模型・パネル貸出 ※飯塚市下水道課実施

(4) 浄化槽ポスターコンクール

福岡県、福岡県浄化槽推進協議会及び福岡県環境整備事業協同組合連合会の後援のもと、県内の小学生を対象とした浄化槽ポスターコンクールを開催し、次世代を担う子供たちに浄化槽について考える機会を提供した。

応募作品の中から入選作品を選考の上、当該作品を県庁ロビーなど県内 2 ヶ所に展示するとともに、入選作品を掲載した啓発ポスターを作成し、関係機関等に配付した。

- ・作品応募総数 589 点
- ・選考結果
 - 福岡県知事賞 1 点
 - 福岡県浄化槽推進協議会会長賞 1 点
 - 福岡県環境整備事業協同組合連合会会長賞 1 点
 - (一財) 福岡県浄化槽協会理事長賞 1 点
 - 優秀賞 5 点
 - 入選 15 点
- ・入選作品啓発ポスター配付実績 500 部

(5) 広告事業

① 車両広告

【柳川市コミュニティバス広告】

柳川市内を巡回するコミュニティバスの車両側面に、浄化槽ポスターコンクールの入選作品を掲載した広告を掲示し、浄化槽の適正管理の推進及び普及啓発を図った。

- ・掲載期間：令和6年10月～令和7年3月（6ヶ月間）
- ・掲載台数：車両4台

② ゴミ収集カレンダー

浄化槽の適正管理をさらに推進する必要がある地域において、各世帯に配付するゴミ収集カレンダーへの適正管理記事の掲載や、浄化槽の普及啓発に関する資料を作成し、行政や関係業者からの依頼に応じて配付することで、浄化槽の普及啓発を推進した。

- ・嘉麻市ゴミ収集カレンダー（啓発記事掲載）18,400部

4 浄化槽関係資格試験・講習会

（公財）日本環境整備教育センターが実施する各種資格試験や講習の事務を、（一社）全国浄化槽団体連合会を通じて一部受託し、浄化槽設備士や浄化槽管理士等の養成及び技術の向上に協力した。

本事業の実績は、以下のとおりである。

なお、浄化槽設備士講習は対面方式からオンデマンド方式へ変更されている。

区 分	試験日	受験者数
浄化槽設備士試験	令和6年7月7日	217名
浄化槽管理士試験	令和6年10月20日	153名
合 計		370名

区 分	実施期間	日数	受講者数
浄化槽管理士講習	令和6年6月24日～7月6日	13日間	108名
	令和6年9月2日～9月14日	13日間	83名
	令和7年3月3日～3月15日	13日間	113名
浄化槽設備士講習 （オンデマンド方式）	効果評定 令和6年11月20日	－	43名
浄化槽技術管理者講習会	令和7年1月22日～1月24日	3日間	135名
合 計			482名

5 福岡県浄化槽管理士研修

福岡県、北九州市、福岡市及び久留米市の保守点検業登録条例に基づく福岡県浄化槽管理士研修（令和6年度から令和8年度開催分）の実施者に当協会が選定され、当協会が行う研修が「令和6年度福岡県浄化槽管理士研修」として指定されたことから、以下のとおり研修を実施した。

期	開催日時	会場名	受講人数	修了人数
第1期	令和6年7月25日（木） 12:45 ～ 16:20	県立飯塚研究開発センター （飯塚市）	70	70
	令和6年7月26日（金）	行橋商工会議所	30	30

	12:45 ～ 16:20	(行橋市)		
第2期	令和6年11月14日(木)	県立飯塚研究開発センター	85	85
	12:45 ～ 16:20	(飯塚市)		
第3期	令和6年11月15日(金)	久留米地域職業訓練センター	76	76
	12:45 ～ 16:20	(久留米市)		
第3期	令和7年2月20日(木)	福岡生活衛生食品会館	75	75
	12:45 ～ 16:20	(福岡市)		
第3期	令和7年2月21日(金)	久留米地域職業訓練センター	58	58
	12:45 ～ 16:20	(久留米市)		
合 計			394	394

カリキュラムは、以下のとおりである。

項 目		講 師
講 義		
	地域における浄化槽情報	福岡県環境部廃棄物対策課 (公財) 日本環境整備教育センター
	浄化槽行政の動向	
	浄化槽の構造と機能	
	浄化槽の保守点検と清掃	
考 査		

6 浄化槽設備士研修会

浄化槽設備士の新たな技術の習得や浄化槽工事における安全対策等を踏まえた知識の習得を目的とした研修が、(一社) 全国浄化槽団体連合会と(公財) 日本環境整備教育センター、全国管工事業協同組合連合会の共催により全国5会場で実施され、この研修会の福岡会場における研修に協力した。

日 時	会 場	受講者数
令和7年2月7日(金)	福岡生活衛生食品会館(福岡市)	20名

7 JICA 課題別研修「分散型污水处理システム導入・普及」(国際)

(一財) 日本環境衛生センターでは、独立行政法人国際協力機構(JICA)の委託を受け、開発途上国の政府関係機関職員等に対して、日本における包括的な分散型污水处理システムを総合的に習得させ、自国の污水处理問題への対応能力の向上を図る研修を実施している。

この研修のカリキュラム「浄化槽の設置及び維持管理サービスの提供」について、(一財) 日本環境衛生センターの要請を受け講義を行った。

また、「浄化槽放流水検査施設の視察」として、筑後検査センター水質検査室において、分析機器の紹介等を行った。

講義日時/会場	令和6年7月2日(火)10:00～12:00、JICA九州(北九州市八幡西区)
視察日時/会場	令和6年7月8日(月)14:30～16:00、筑後検査センター(久留米市)
研修員	7ヶ国8名

	フィリピン 1、ラオス 1、スリランカ 1、ブラジル 2、ペルー 1 北マケドニア 1、パプアニューギニア 1
--	--

【検査部関連】

1 浄化槽を取り巻く状況の変化に対応したより効率的な検査事業の推進【重点事業】

人口減少や I T の進展などの社会情勢が変化しているなか、信頼性の高い法定検査サービスを持続的に提供していくために、指定検査機関に期待されている役割を踏まえ、より効果的で効率的な法定検査の推進と、検査で得られた情報の分かりやすい発信に努めた。

2 法定検査業務の推進【重点事業】

浄化槽法に基づく検査は、浄化槽が所期の機能を発揮していることを判定する重要な業務であり、関係業界、会員の協力のもと法定検査の推進に努めた。

法定検査の実施状況は、以下のとおりである。

区分	7条検査	11条検査	合計
令和2年度	3,464	119,917	123,381
令和3年度	3,491	123,158	126,649
令和4年度	3,491	125,600	129,091
令和5年度	3,343	127,023	130,366
令和6年度	3,006	127,997	131,003

(1) 第7条検査

浄化槽法第7条に規定する設置後の水質検査は、検査依頼書が福岡県保健福祉環境事務所を経由して提出されており、100%の受検率を達成している。なお、全国の平均受検率（令和5年度）は97.4%となっている。

(2) 第11条検査

浄化槽法第11条に規定する定期検査（以下、「11条検査」という。）は、「福岡方式」により実施している。

福岡県の受検率（令和5年度）は75.8%であり、全国平均49.8%を大きく上回っているが、約24%の浄化槽が未受検となっている状況である。

また、11条検査でBOD値が恒常的に基準を超過した浄化槽を対象に、浄化槽の使用状況等の聞き取り調査や、法定検査よりも詳細な外観及び水質検査を行う「BOD超過原因調査」を実施し、その結果を取りまとめ、浄化槽管理者や保守点検事業者に情報提供することを通じて、水質が悪化している浄化槽の改善促進に努めた。

BOD超過原因調査の実施状況は、以下のとおりである。

実施件数	水質改善	水質改善傾向	水質未改善
7件	6件（85.7%）	1件（14.3%）	0件（0.00%）

(3) 指定採水員指定講習会

「福岡方式」で採用している指定採水員制度を適正に運営するため、指定採水員指定講習会を開催し、法定検査の実施に必要な指定採水員を確保するとともに、浄化槽の適正管理の推進及び法定検査の信頼性の向上を図るため講習内容の充実に努めた。

なお、令和7年3月末の指定採水員数は884名となっている。

開催及び受講状況は、以下のとおりである。

期	開催日時	会場名	受講者数		
			新規	更新	小計
第1期	令和6年 7月25日(木) 9:20~11:45	県立飯塚研究開発センター (飯塚市)	11	47	58
	令和6年 7月26日(金) 9:20~11:45	行橋商工会議所 (行橋市)	4	16	20
第2期	令和6年11月14日(木) 9:20~11:45	県立飯塚研究開発センター (飯塚市)	5	49	54
	令和6年11月15日(金) 9:20~11:45	久留米地域職業訓練センター (久留米市)	9	66	75
第3期	令和7年 2月20日(木) 9:20~11:45	福岡生活衛生食品会館 (福岡市)	14	69	83
	令和7年 2月21日(金) 9:20~11:45	久留米地域職業訓練センター (久留米市)	6	52	58
合 計			49	299	348

カリキュラムは、以下のとおりである。

科 目	担 当
浄化槽行政について	福岡県環境部廃棄物対策課
外観・水質・書類検査、総合判定	(一財)福岡県浄化槽協会
福岡方式(効率化11条検査)について	
11条検査の依頼方法と判定方法について	
浄化槽放流水の採水方法と残留塩素の測定方法	
浄化槽の設置、保守点検・清掃	
法定検査における指摘事例	

(4) 定期検査クロスチェック委員会の運営

本委員会は、「福岡方式」の適正な運営を図るために行政及び学識経験者によって構成された審査機関である。引き続き、採水適正点検調査等を適切に実施し、その内容を委員会で説明して審査していただくことを通じて法定検査の信頼性を確保する。

委員会の開催状況は、以下のとおりである。

第1回会議	令和6年6月3日(月)
-------	-------------

第2回会議	令和6年9月24日（火）
第3回会議	令和7年3月17日（月）

3 県細則検査

51人槽以上の浄化槽については、福岡県浄化槽法施行細則に基づく検査が規定されており、関係業界、会員の協力のもと県細則検査の推進に努めた。

県細則検査の実施状況は、以下のとおりである。

年度	検査件数	主な特殊項目検査件数（オプション）			
		COD	T-N	T-P	大腸菌群数
令和2年度	15,951	2,033	1,433	1,433	1,482
令和3年度	15,794	2,038	1,500	1,470	1,480
令和4年度	15,660	2,034	1,504	1,480	1,466
令和5年度	15,549	1,999	1,478	1,452	1,434
令和6年度	15,360	2,006	1,462	1,439	1,439

4 調査研究

浄化槽の法定検査やBOD超過原因調査等から得られた知見をもとに、浄化槽に関する調査研究に取り組むとともに、これらの調査研究の成果や指定検査機関としての先進的取り組み等について、機会を捉えて積極的に外部に情報発信を行っている。

令和6年度は、（公財）日本環境整備教育センターが主催する「第38回全国浄化槽技術研究集会」（長崎市）及び九州地区浄化槽指定検査機関協議会が主催する「令和6年度九州地区浄化槽検査員研修会」（熊本市）において、以下のとおりそれぞれ発表した。

題 目	発表者
指定検査機関における生産性向上の取組事例と効果について （第38回全国浄化槽技術研究集会）	検査課 与古光 千夏子
浄化槽の処理水質改善のための情報共有プロセスに関する 一提案（令和6年度九州地区浄化槽検査員研修会）	検査課 兼 福岡検査センター 法定検査課 渡邊 総一郎

5 浄化槽システムの脱炭素化推進事業

環境省では、浄化槽分野の脱炭素化を推進するため、令和4年度から令和8年度までを事業期間として、エネルギー効率の低い既設の中・大型合併処理浄化槽を対象に、最新型の高効率機器（高効率ブロワ等）への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再生可能エネルギー設備（太陽光発電、蓄電設備等）の導入に要する経費の一部を補助する事業を実施している。

当協会は、（一社）全国浄化槽団体連合会から受託して、本事業の申請受付及び書類審査（一次審査）を実施した。

実績は、以下のとおりである。

最新型の高効率機器への改修	1基
---------------	----

先進的省エネ型浄化槽への交換	2 基
----------------	-----

6 特殊技能講習会事業

浄化槽の施工・維持管理作業の安全確保に資するため、安全衛生マネジメントセンター合同会社が主催する以下の講習会について、会員に開催案内を行うとともに、受講者に対してテキストを提供し、会員企業における人材育成に協力した。

受講状況は、以下のとおりである。

講習科目	受講者数
酸欠・硫化水素危険作業主任者技能講習	14 名
職長・安全衛生責任者教育	3 名
有機溶剤作業主任者技能講習	2 名
合 計	19 名